



「対話すること」

校長 高橋 浩平

今年の夏休みは充実した日々が過ごせたでしょうか。79回目の終戦記念日、暑さ対策のため時間をずらしての甲子園での全国高校野球選手権、南海トラフ地震臨時情報、岸田総理退陣表明、といろいろなことがありましたが、話題が大きかったのはやはりパリオリンピックでしょう。熱戦が繰り広げられ、多くの日本人選手が活躍しました。何よりも本校卒業生(平成 21 年度卒業生)である渡辺勇大さんがバドミントン混合ダブルスで東京大会に引き続き2大会連続の銅メダルを獲得したのは、とても嬉しかったです。心より拍手を送りたいと思います。

一方で、選手に対する SNS 上での誹謗中傷の問題も指摘されました。

「選手中傷 価値観を強要」

<自分を責めて引退してください>。バレーボール男子の日本代表が準々決勝で競り負けた 5 日、SNS には、最終セットのマッチポイントでサーブをミスした小野寺大志選手(28)を中傷する投稿が数多く確認された。小野寺選手は 6 日、自身の X(旧ツイッター)で、本人だけに届くダイレクトメッセージ(DM)にも中傷が送りつけられたことを明かした。この問題を受けて日本バレーボール協会は 7 日に声明を出し、「怒りに任せた暴力的なコメントやアスリート本人の尊厳を傷つけるメッセージがあったとし、「愛のある応援をお願いします」と求めた。(2024 年 8 月 14 日、読売新聞)

いまさら SNS のない時代に戻ることはないだろうと思いますが、ここ数年の SNS 上での誹謗中傷のたぐいは目に余るものがあります。そうした気持ちになって、それを声に出して言う人はこれまでもいたと思いますが、SNS にあげてしまうと、それは全世界に発信してしまうことと同じだという自覚がどれくらいあるのでしょうか。親しい友人に話すような口ぶりで SNS に発言をあげているのを見ると、とても不安になります。「SNS での発言が炎上」ということも多いですね。「この発言は叩いていいんだ」となると多くの人たちがよってたかって中傷する、という図式は、いじめの構図ととても似ているな、という気がしています。また、ネットワーク上で

のかかわりは、同じような意見、思いをもっている人が集まりやすく、それは逆に反論を許さない、異なった意見を排除する、というベクトルに安易に進んでしまう危険性をはらんでいます。

本校は、今年度の校内研究のテーマを「対話から自分の考えを広げられる児童の育成」とし、「対話力の育成と向上」を目指して研究を進めています。児童が対話力をつけることも大切ですが、私たち大人の対話力はどうでしょう。意見が異なっても、対話をすることでお互いを高め合うことができる、ということが対話のすばらしさだと思うのですが、感情的になってしまったり、お互い避け合ってしまったたり、ということも多いのではないのでしょうか。特にこの 10 年、「対話する」機会は減っているような気がするのですが、皆さんはどう思われますか。

現在の学習指導要領では「児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと」(『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)』22 ページ)と書かれており、この「対話的な学び」は『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説総則編』によると、「子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等」(77 ページ)を通じて実現していく、と書かれています。つまり、大人との対話、読書を通じての「対話」も「対話的な学び」なわけです。大人同士でも対話ができないのに、子供たちに「対話力をつける」というのもおかしいのではないかと個人的には思っています。他方、「対話する」ということは、ある意味「めんどくさい」という要素もあります。「めんどいので対話しない」という人も現実にいるかなと感じています。また自分自身に余裕がないと「対話する気も起らない」ということもあるでしょう。しかし、そうした要素があっても、それでも「対話する」ことの面白さ、楽しさを学校としてはもっと発信できたらと思っています。

2 学期、モモオリンピックなど大きな行事もあります。充実した教育活動ができるよう努力していきたいと思います。2 学期もどうぞよろしく願いいたします。

言葉にならない「ことば」を聴く

いじめ対策委員会より

文部科学省によりますと、令和5年度の全国の学校が把握したいじめの件数が68万1948件、また、自殺や不登校などの「重大事態」と認定された件数は923件と、いずれも過去最多となっています。また厚生労働省と警察庁によりますと、自殺者数は全体的にはやや減少傾向にありますが、若年層は急増しており、先進国では最多となるそうです。さらに、暴力行為も低年齢化が進み、文部科学省の調査では小学校での件数が、中学・高校を抜いて最多となっています。

自殺者数の前年差

	令和4年度	令和5年度	前年差
小学生	17人	13人	-4
中学生	143人	153人	10
高校生	354人	347人	-7
合計	514人	513人	-1

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

いじめや自殺、不登校など、こういった子供の行為を「問題行動」として取りまとめています。問題行動というと、その行動をした子供に何か問題があるように聞こえますが、そうではありません。問題行動は「問題提起行動」として捉えています。「困った（行動をする）子は、（課題を抱えている）困っている子」という視点に立つことが大切です。昔の学校では「服装の乱れは心の乱れ」として服装検査などがありましたが、本当の意味は別です。服装が乱れているのは、何か子供が課題を抱えているということの表れです。

「一人がいい」と言う子は、本当は友達や信頼できる人を求めている気持ちで、「親は嫌い」と言う子は、本当は親を求めている気持ちが潜んでいる可能性があります。言葉にならない「ことば」を聴くことが必要になってきます。

- ①うまく言えない<ことば> 例)「大丈夫?」と聞くと「大丈夫」と答えてしまう
- ②行動で訴える<ことば> 例)物を壊す、言動が変化する など
- ③身体で訴える<ことば> 例)髪を抜く、外見を気にしなくなる など

学校でもアンケートをはじめ、子供の様子を担任だけでなく、学年、専科、スクールカウンセラーなど、職員全体で見守っています。それでも、子供の変化には気付きにくいものです。

ご家庭でもお子さんの様子を見ていただき、気になることがありましたら、学校までご連絡ください。



からだ力の取り組みについて

研究部

本校は、16年に渡って「からだ力」をテーマに、体力向上を図る様々な取り組みを行っています。「からだ力」とは、児童が自分の体や食生活に興味・関心をもち、望ましい運動習慣や生活習慣を身に付け、運動の日常化や望ましい食生活・生活習慣について自ら考え行動する力です。また、心身ともに健やかに成長し、明るく楽しい生活を送るために必要な力のことを表します。

「からだ力」を身に付けていくためには、適切な運動、基本的な生活習慣の確立、調和のとれた食事が必要だと考えています。そのためには、学校・家庭・地域が一体となって積極的に「からだ力」の向上を図ることが大切です。そこで、本校では、各学年の発達段階に応じた運動・食育・生活習慣に関する授業を行っています。また、朝の時間を活用しながら、マラソンや長縄など日常の中で継続的な運動に取り組み、体力向上を目指しています。

学校で取り組んだことをお子さんと一緒に取り組むなど、「からだ力」についてご家庭でも考えていただけると嬉しいです。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。



食育に関する取り組みについて

食育推進委員会

本校では、学校経営の4つの柱のうちの一つである、「からだ力」の向上のための取り組みの一環として、「食育」の充実を図っています。食育を通して、自分の健康や食事について考え、よりよい行動をしようとするところのできる児童を育てたいと考えています。

食育の取り組みとして、給食通信「ぱくぱく」を発行しています。当日の献立内容から、料理の紹介や、旬の食べ物・地場産物の紹介、また、行事食や郷土料理の紹介、食事のマナーについてなど、子供たちに「食」について関心をもちてもらいたいという思いで様々なテーマを取り上げて、毎日の給食時間に発行しています。

その他にも食べ物を大切にする気持ち、給食に携わった人たちへの感謝をもてるような取り組みとして、給食を完食したクラスには完食賞を配布したり、「8」がつく日に「かむかむデー」を設定し、噛み応えのある食材を提供することでよく噛んで食べることへの指導を行ったりしています。

さらに、給食委員会では、自分たちで郷土料理や世界の料理、食品ロスなど、興味関心のある内容について調べ、全校児童に伝えたり、栄養バランスを考えた献立を作成する活動も行ったりしています。今回紹介した内容以外にも、様々な科目の授業や学校生活の中に「食」と関わる場面があります。ご家庭でも、学校の給食を話題にしてみたいと思います。



9月の予定

	行事予定	PTA関係	校庭開放	学校支援本部
1 日				
2 月	2学期始業式 午前授業 大掃除			
3 火	午前授業 給食始 計測(6年) 安全指導	P卓		放(英5)
4 水	午前授業 委員会5校時 計測(5年) ダイコン種まき(2年)	Pバレー		放(英6)
5 木	計測(4年)			早(卓/サ4)
6 金	防犯教室(1年2年) 避難訓練(不審者対応訓練)	Pバド		早(バド/サ56)
7 土		P卓 Pコーラス	13:00~ 17:00	
8 日			9:00~ 17:00	
9 月	全校朝会 クラブ 計測(3年)			
10 火	日フィル鑑賞教室(6年) 計測(2年)	P卓		放(英5)
11 水	計測(1年)	Pバレー		放(英6)
12 木				早(卓/サ4) 井草ばやし
13 金	【月曜時間割】たてわり班集会 理科出前授業(6年)	Pバド		早(バド/サ56)
14 土		Pバレー	13:00~ 17:00	
15 日			9:00~ 17:00	
16 月	敬老の日		9:00~ 17:00	
17 火		P卓		放(英5)
18 水	午前授業	Pバレー		放(英6)
19 木	運動会時程始			早(卓/サ4)
20 金	児童集会	Pバド		早(バド/サ56)
21 土		Pバド	13:00~ 17:00	
22 日	秋分の日		9:00~ 17:00	
23 月	振替休日		9:00~ 17:00	
24 火		P卓		放(英5)
25 水	【月曜時間割】	Pバレー		放(英6)
26 木	ダイコン間引き(2年)			早(卓/サ4) 井草ばやし
27 金	児童集会	Pバド		早(バド/サ56)
28 土		Pバド Pコーラス	13:00~ 17:00	
29 日			9:00~ 17:00	
30 月	全校朝会 教育実習始 運動会係打合せ(6年)			放スポ



9月の生活目標

【時間を守ろう】

夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まります。子供たちの元気な声に戻ってきました。

さて、9月の生活目標は、「時間を守ろう」です。ゆとりある登校や授業が始まる前の着席、掃除の開始・終了時刻の遵守ということを目指して時間を意識できるよう指導していきます。夏休みのゆったりした生活から、時間を意識しながら行動する学校生活へと、生活リズムが整うように、ご家庭でも声かけをお願いいたします。



学校ニュース

児童の活躍やがんばりを紹介します！

○第55回会長杯争奪

ミニバスケットボール大会

女子優勝

桃一小ミニバスケットボールクラブ

日々の練習の成果ですね。おめでとうございます！！

○第57回万歩会(7/21~27)

皆勤賞

2年生児童2名

3年生児童1名

4年生児童1名

5年生児童2名

6年生児童2名

暑い日が続きましたが、よく歩ききりましたね！

学校ニュース【特別版】

祝！銅メダル！！パリオリンピック

バドミントン混合ダブルス

渡辺 勇大 選手 東野 有紗 選手

渡辺選手は、本校の卒業生です。

渡辺選手、東野選手、おめでとうございます。

※ 行事予定は変更される場合もありますので、お子さんの連絡帳や学年からのお知らせをよくお読みください。
 ※ スクールカウンセラー出勤日は、毎週火曜日(岡本SC)、木曜日(森国SC)です。
 直通電話は、03(3390)3187です。

